

特定漁港漁場整備事業計画変更書

1 変更理由

変更理由	
	<p>海潟漁港は、鹿児島県でも有数のカンパチの養殖基地である。近年の養殖水揚げ量の増加に鑑み、以下のとおり変更する。</p> <p>(1) 浮棧橋(新設)の追加 干潮時での養殖用餌の積込み等に下降式のフォークリフトを使用しているが、作業効率の悪化や船の揺れにより常に危険な状況の作業であることから、浮棧橋を新設し、作業効率の向上や安全性の向上を図る。</p> <p>(2) - 3 m岸壁(改良)の追加 エプロンの沈下により段差があり、漁船への乗降時や準備作業時に転倒・転落の危険にさらされていることから、- 3 m岸壁の改良を追加し、段差の解消を行い、漁業活動のための安全を確保する。</p> <p>(3) - 2 m物揚場(改良)の追加 エプロンの沈下により段差があり、漁船への乗降時や準備作業時に転倒・転落の危険にさらされている。平成15年においては、フォークリフトの作業時にツメ部を段差に当て油圧システムを損傷した。このようなことから、- 2 m物揚場の改良を追加し、段差の解消を行い、漁業活動のための安全を確保する。</p> <p>(4) B道路(改良)の延長減 国道の改築工事に伴うB道路への拡幅工事があったことから、B道路(改良)の延長L = 36 mを27 mに変更減する。</p> <p>(5) A道路(改良)の追加 漁獲物の出荷等による大型車輛の交通が多いことから、道路舗装のひび割れが発生しているとともに、排水溝の整備が不十分な状況にある。平成16年度にはH A C C P対応型の水産加工場が整備されることとなり、今後、更に大型車輛等の増加が見込まれることから、A道路(改良)を追加し、計画的な整備を図る。</p> <p>(6) 用地(改良)の追加 養殖用資材補修等の作業施設用地の不足や既設用地が未舗装であり、漁具の修理等に作業の順番待ちをしている状況であるとともに、未舗装箇所での補修は泥等が漁具へ付着し補修作業が困難であることから、用地改良(舗装)を追加し、作業効率の向上を図る。</p>

2 変更後の目的

目的	
(1) 地域の特徴	<p>本漁港は、鹿児島県東部の大隅半島中部鹿児島湾沿岸に位置し、東岸には江之島、北岸には桜島を望む風光明媚な景観を形成している。本地区の人口は、2,537人で、このうち356人が漁業従事者である。(H14港勢調査)</p>
<p>本漁港は桜島と江ノ島に囲まれた天然の良港であり、漁港沿岸では養殖漁業が盛んである。漁港背後には国道220号が南北に延びており主にこれを利用しての餌搬入や出荷が行われている。本漁港での水揚げは地域の重要な産業基盤であり、地域経済に与える影響は非常に大きい。</p>	
(2) 水産業の沿革と現状	<p>昭和40年代前半までは鰹の生き餌であるカタクチイワシの供給基地として八田網漁が盛んであったが、鰹漁の不振からこれも衰退を極め、代わりに後半からカタクチイワシの養殖技術を生かし、カンパチ養殖が本格的に行われるようになった。現在、カンパチの養殖の水揚げ高は約6,700トンであり、水揚げ高の大半を占めており順調に伸びている。(H14港勢調査)</p>
(3) 漁港漁場整備の沿革と役割	<p>海潟漁港は、昭和37年に第2種漁港として指定を受け、昭和43年の第3次漁港整備計画から漁港改修事業により整備が進められてきた。本漁港は弓状の形をした湾内にあり天然の良港であるためその静穏な水域を生かし、養殖漁業の基地として利用されている。陸揚げ、準備作業の効率化が図られ、つくり育てる漁業が推進されている。</p>
(4) 当該事業計画の目的	<p>水産物資源の持続的利用と安全で効率的に供給する体制の整備 本漁港には576台のイケスを使用し養殖を行っているが、作業施設用地が不足していることからイケスの組立や維持管理作業の順番待ちや、漁港外での作業を強いられている。作業施設用地の整備により、作業効率を向上させるとともに、イケスの陸上での一時仮置スペースを確保する。 水産業の振興を核として良好な生活環境の形成を目指した漁村の総合的な振興 本漁港及びその周辺には、漁港従事者や周辺住民の憩う公園や緑地が無いことから、地域外の公園等を利用せざるを得ない状況にある。漁業者交流の場の創造及び地域住民に親しまれる漁港整備に努める。</p>

3 変更後の施行に係る区域及び工事に関する事項

(1) 変更後の区域に関する事項

イ 区域名

区域名	海潟地区
-----	------

ロ 所在地等

都道府県名	鹿児島県	関係市町村名	垂水市
地域指定	霧島屋久国定公園		
整備対象漁港名	海潟漁港	整備対象漁場名	

八 変更後の位置図



写真等



全 景

平成15年7月撮影

写真等



台風時には安全な係船岸及び水域が不足するため、対岸（約4 km）にあるしんたい湾に避難をしている。

平成12年10月撮影



荒天時には静穏な水域が不足し、漁船の係留が困難となる。

平成12年2月撮影

写真等



係船岸の不足により、多くの漁船が沖に停泊している。

平成13年7月撮影



係船岸の不足により、養殖用餌の積込作業時に待ち時間が発生するなど効率が悪い。

平成13年7月撮影

写真等



漁獲物の水揚げ時に、用地が不足しトラック等で混雑するため、出荷時には作業効率が悪く、また、非常に危険な状況にある。

平成13年10月撮影



餌の積込作業時には、下降式のフォークリフトを使用しているが、作業効率が悪く、また、船の揺れにより常に危険な状況での作業を強いられている。

平成16年6月撮影

写真等



大型輸送車の交通が多いことから道路舗装のひび割れが発生している。また、路面排水が悪く通行に支障を来しているとともに、衛生上良くない。

平成16年7月撮影



岸壁、物揚場のエプロン沈下による段差があり、漁船への乗降や準備作業時に転倒・転落の危険にさらされている。

平成16年7月撮影

写真等



作業施設用地の不足や既設用地が未舗装であることから、漁具の修理等に支障が生じており、漁民は養殖用資材修理等の順番待ちをしている。

平成16年3月撮影



当漁港の方塊製作ヤードとして確保する必要がなくなったことから、用地改良(舗装)を行い養殖用資材修理等のための作業スペースを確保し、作業効率の向上を図る。

平成16年3月撮影



漁港周辺には地域住民や漁業者の憩う場がなく、また、安全に海とふれあうことのできる場もない。

平成13年10月撮影

二 当該区域の水産業の現況、課題及び整備方針

当該区域の水産業に係る現況、課題及び整備方針

(1) 資源管理型漁港・つくり育てる漁港への支援

現状と課題

養殖漁業の水揚げ高が順調に増加し、それに伴い養殖作業施設用地が不足してきた。養殖の陸上作業は時期が重なるため、作業スペースの調整が必要となりイケス組立・網取付作業が順番待ちとなる。そのため、一部の漁業者は漁港外での作業を強いられている。

整備方針

作業施設用地を確保し、作業の効率化を図ることにより、1日当りのイケス組立・網取付作業個数を増加させるとともに、イケスの陸上への一時仮置きを可能とする。

(2) 安全で快適な漁業地域の形成

現状と課題

係留施設前面には外郭施設が十分整備されていないことから、港外からの波の影響を受けやすい係留施設が多く、荒天時には乗船・係留作業が困難となることから、外郭施設の整備が急務である。

当漁港は潮位差が大きいため、養殖用餌の積み込みに下降式のフォークリフトを使用しているが、作業効率の悪化や船の揺れにより常に危険な状況の中で作業を行っている。また、大型輸送車の交通が多いことから道路舗装のひび割れが発生しているほか、排水施設が不十分であり通行に支障を来しているとともに不衛生な状況にある。

岸壁、物揚場については、エプロンの沈下により段差があり、漁船への乗降時や準備作業時に転倒・転落の危険にさらされている状況にある。

用地については、作業施設用地の不足や既設用地が未舗装であることから、作業の順番待ちや、漁港外での作業を強いられている。

また、漁業者の休憩場所となる施設がなく、漁港利用者の労働環境の改善が必要である。

整備方針

係留岸壁の整備に併せて防波堤を整備し、静穏な水域の確保に努め、出漁可能日数の増加及び避難回数の減少に努める。

浮棧橋を整備し、作業効率の向上や安全性の向上を図り、労働環境の改善に努める。また、車輛通行の安全性向上を図るとともに、水溜まりによる不衛生を改善するため、舗装の打ち替え等を行う。

漁船への乗降時の危険回避として岸壁、物揚場の改良を行うとともに、漁具修理等の作業効率を向上させるため用地舗装を行う。

また環境緑地を整備し、漁港利用者の休憩及び交流の場を確保する。

ホ 整備対象漁港及び整備対象漁場の現況及び将来見通し
(変更時の現況)

(H 1 4 年港勢調査)

整備対象 漁港名	(4,965 ト) 属地陸揚量 6,706 ト	(4,274 百万円) 属地陸揚金額 5,270 百万円	(5,177 ト) 属人漁獲量 9,290 ト
海潟漁港 (第 2 種)	(369 隻) 登録漁船隻数 361 隻	(409 隻) 利用漁船隻数 412 隻	漁船以外 (0 隻) 利用船舶隻数 0 隻
	主な漁業種類 養殖		主な魚種 カンパチ・ブリ

(将来見通し)

(目標年 : 平成 2 3 年)

整備対象 漁港名	(4,965 ト) 属地陸揚量 6,706 ト	(4,274 百万円) 属地陸揚金額 5,270 百万円	
海潟漁港 (第 2 種)	(369 隻) 登録漁船隻数 361 隻	(409 隻) 利用漁船隻数 412 隻	漁船以外 (0 隻) 利用船舶隻数 0 隻

将来見通しの考え方

<属地陸揚量>

平成 6 年から平成 1 4 年のデータによると、陸揚げ量は平成 9 年を境にやや減少傾向にあったが、給餌法の統一・品質の均一化など、一貫生産体制の強化が図られたことにより、平成 1 2 年から増加傾向にある。

1 0 年後の将来見通しは、大きく陸揚げ量が増加することは難しいが漁港施設が整備されることにより就労環境が改善され、現状を維持することができるものとして平成 1 4 年と同程度と推定した。

<属地陸揚金額>

平成 6 年から平成 1 4 年のデータによると、陸揚げ量は平成 9 年を境にやや減少傾向にあったが、給餌法の統一・品質の均一化など、一貫生産体制の強化が図られたことにより、平成 1 2 年から増加傾向にある。

1 0 年後の将来見通しは、大きく陸揚げ量が増加することは難しいが漁港施設が整備されることにより就労環境が改善され、現状を維持することができるものとして平成 1 4 年と同程度と推定した。

<登録漁船隻数>

平成 6 年から平成 1 4 年のデータによると、登録漁船数は平成 9 年を境にやや減少傾向にあったが、生産体制の安定化等により、平成 1 2 年に一時増加した。しかし、その後はやや減少傾向にある。

1 0 年後の将来見通しは、平成 6 年から平成 1 4 年を通してみると、漁船数は増減を繰り返しており大きく減少することはないと推定される。よって、平成 1 4 年と同程度と推定した。

<利用漁船隻数>

平成 6 年から平成 1 4 年のデータによると、登録漁船数は平成 9 年を境にやや減少傾向にあったが、生産体制の安定化等により、平成 1 2 年に一時増加した。しかし、その後はやや減少傾向にある。

1 0 年後の将来見通しは、平成 6 年から平成 1 4 年を通してみると、漁船数は増減を繰り返しており大きく減少することはないと推定される。よって、平成 1 4 年と同程度と推定した。

<利用遊漁船等隻数>

平成 6 年から平成 1 4 年のデータによると、利用遊漁船は無いため、今後もないものと推定した。

(2) 変更後の工事に関する事項

イ 主要施設の種類、規模及び配置等

(漁港施設)

都道府県名	整備対象漁港名	漁港種類	所管	事業主体名	漁港管理者名	
鹿児島県	海潟漁港	第2種	本土	鹿児島県	鹿児島県	
計画施設	計画工事種目	変更前の計画数量		17年1月第1回変更		備考
		単位	計画数量	単位	計画数量	
外郭施設	E 防波堤	m	45	m	45	新設
	F 防波堤	m	50	m	50	新設
	G 防波堤	m	40	m	40	新設
	H 防波堤	m	250	m	250	新設
	C 護岸	m	43	m	43	新設
	D 護岸	m	64	m	64	新設
係留施設	-2.0m 物揚場	m	210	m	210	新設
	浮棧橋	基	0	基	1	新設 L=50m
	-3.0m 岸壁(改良)	m	0	m	100	(S56,H6)
	-2.0m 物揚場(改良)	m	0	m	320	(S60,H3,5)
水域施設	-2.0m 泊地	m ²	1,286	m ²	1,286	新設
輸送施設	B 道路(改良)	m	36	m	27	(S60)
	J 道路	m	249	m	249	新設
	A 道路(改良)	m	0	m	693	(S62)
漁港施設用地	用地	m ²	6,276	m ²	6,276	新設
	用地(改良)	m ²	0	m ²	2,000	(H13)
その他						

ロ 工事の着手及び完了の予定時期

着手(予定)年度	(平成14年度) 平成14年度	完了予定年度	(平成23年度) 平成23年度
----------	--------------------	--------	--------------------

ハ 計画平面図

計画平面図	別紙のとおり

4 事業費に関する事項

	変更前の計画事業費	17年1月第1回変更
計画事業費	2,870 (百万円)	3,219 (百万円)

5 変更後の効果に関する事項

1. 主要な水産関係別の事業効果	<p>安全で快適な漁業地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none">・休憩用係船岸が不足しているため、漁船等の係留は本港沿岸に係留している。(沖止め)休憩用係船岸を整備することによって、これらの沖止め漁船までの往復時間及び乗り換え時間が短縮される。(2割)・現在岸壁の整備が不十分であり、荒天時に係留できる岸壁が無く、漁船の損傷が激しい状況である。港内静穏度の向上等により、漁船の耐用年数の延長が期待される。(3.13年延長)・網干場用地が不足しているため民地・自家用倉庫等で網干しを行っている状況である。港内の網干場が整備されることにより、漁港内での網干しができるようになり、網の積込運搬時間が無くなる。(延べ32,796時間)・施設用地の整備により、使用していないイケスを陸上に上げることができるため、イケスの耐用年数が向上する。(2.5年延長)・外郭施設の整備が不十分であることから台風時には、対岸の桜島まで避難をせざるを得ない状況であり、外郭施設及び係留施設が整備されることにより避難隻数の減少が期待される。(58隻/1回)・潮位差が大きいことから陸揚・準備作業等に多大な労力を要している。浮棧橋の整備により作業の安全性向上及び労働環境が改善される。(47,048千円/年)
2. 地域に与える影響	<p>防波堤、物揚場、浮棧橋等の整備により、利用漁船の安全な係留及び準備作業ができるようになり、漁業就労者の労働環境の改善及び効率化が図られる。これらの効果により若い世代からの雇用も見込まれ、地元の重要な産業として安定した収益が見込まれる。(5,270百万円、H14港勢調査)</p>

3 . 費用対効果分析結果			
社会的割引率	4.0 %	投資期間	平成 1 4 年 ~ 2 3 年
現在価値化の基準年度	平成 1 3 年	施設の耐用年数	5 0 年
貨幣化による分析結果			
	変更前の分析結果	1 7 年 1 月第 1 回変更	
貨幣化した効果項目	<ul style="list-style-type: none"> ・係留作業時間の短縮 ・漁船の耐用年数の延長 ・積込移動時間の削減 ・養殖イケスの耐用年数の向上 ・避難隻数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・係留作業時間の短縮 ・漁船の耐用年数の延長 ・積込移動時間の削減 ・養殖イケスの耐用年数の向上 ・避難隻数の減少 ・作業の安全性の向上、労働環境の改善 	
総便益額 B	2,847 百万円	3,882 百万円	
総費用額 C	2,370 百万円	2,766 百万円	
費用便益比率	(B/C) 1.20	(B/C) 1.40	
参考	純現在価値 : (B-C) 477 百万円	純現在価値 : (B-C) 1,120 百万円	
	内部収益率 : (IRR) 5.06 %	内部収益率 : (IRR) 6.38 %	
事業の定量的・定性的効果 (貨幣化が困難な効果)			
<p>・海潟漁港周辺には子供や地域住民が憩うことのできる公園が無く、環境施設用地を整備することで、漁業就労者及び地域住民へ憩いの場を提供し、地域交流の場とすることができる。それにより地域住民及び、子供の漁業への関心と理解が深まる。</p>			

6 変更後の環境との調和に関する事項

環境との調和に関する事項
<p>本漁港は、鹿児島県東部の大隅半島中部鹿児島湾沿岸に位置し、東岸には江之島、北岸には桜島を望む風光明媚な景観を形成している。</p> <p>本漁港周辺は霧島・屋久国立公園の普通地域内であり、これまでも周辺環境への配慮のため環境関係機関と調整をしながら整備を進めているところである。</p> <p>当漁港の計画施設が本地域内に及ぼす影響は、ほとんどないと考える。なお、現在は漁港施設内に緑地は整備されていないが、今回の計画により緑地が整備され周辺環境への調和をとれるように整備を進める方針である。</p> <p>また、「自然調和型漁港づくり推進事業」の承認を受けており、自然共生・環境創造型漁港づくりを目指した整備を行うこととしている。</p>

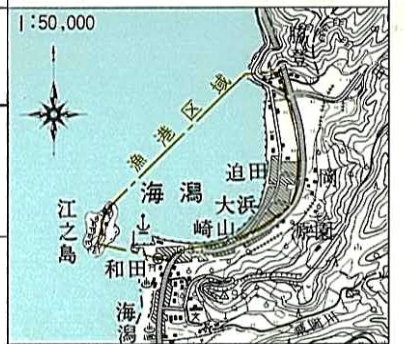
7 変更後の他の水産関係施設との関係

施設名	施設規模・内容	本事業との関連性	備 考
水産加工場 (HACCP 対応型)	鉄骨一部3階建て 延べ床面積約 2,300 m ²	HACCP 対応型の加工場が整備されることにより、高度な衛生管理が確立され、安全で安心な水産物の提供が図られる。このことにより、県内でも有数なカンパチの養殖基地である当漁港において、地域経済に与える影響は極めて大きい。	平成16年11月完成 同年12月稼働開始

漁港漁場整備長期計画
海潟漁港広域(特定)事業計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
4920180	第2種	本土	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県垂水市海潟地内

漁港区域図

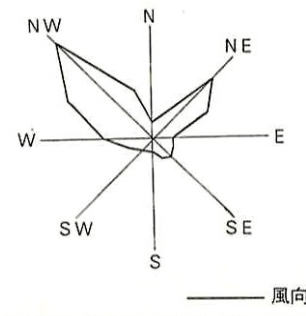


昭和37年7月6日(農林水産省告示第864号)

位置図



風向・風速図



気象官署 鹿児島気象台

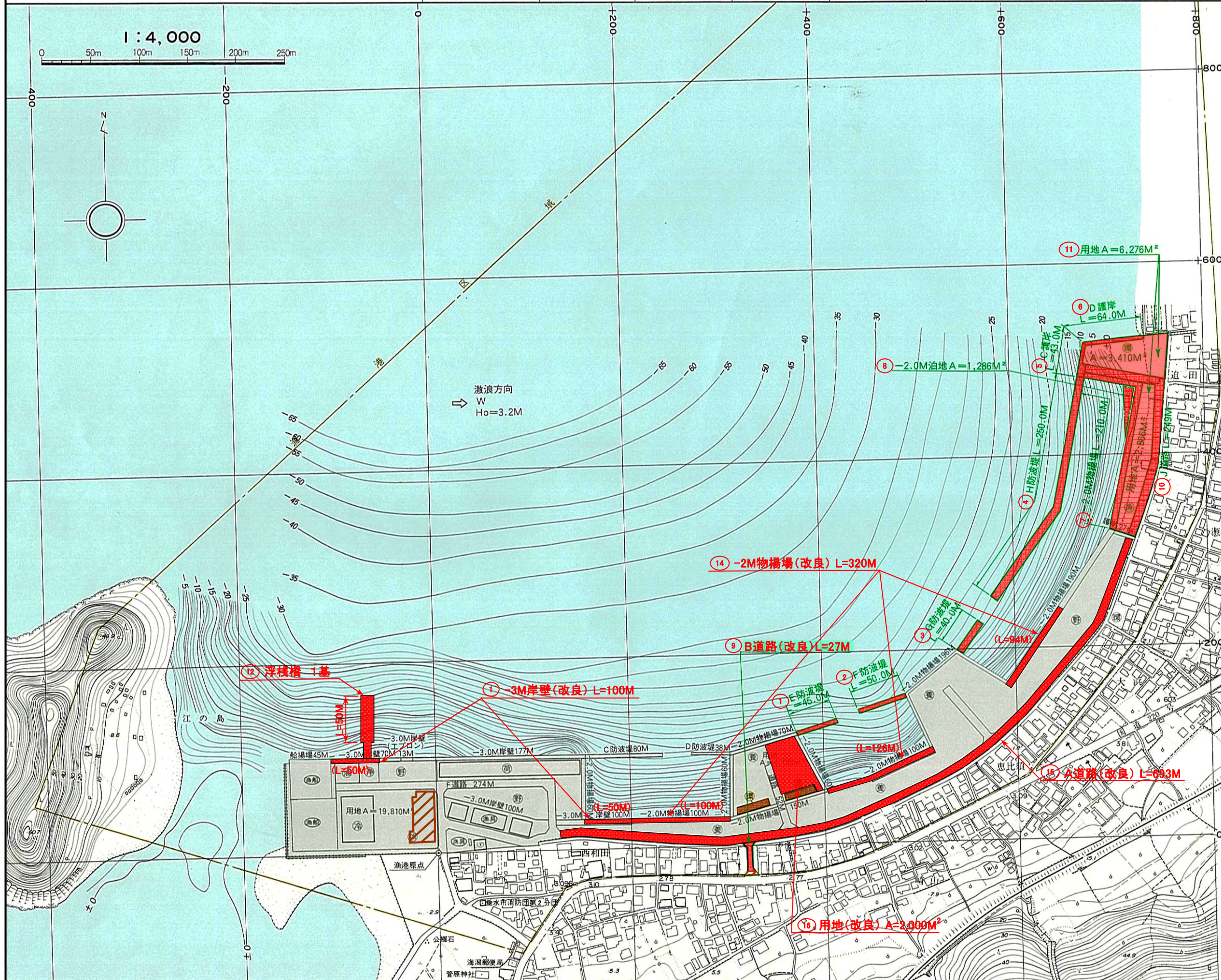
潮位図

H.H.W.L	+3.90
H.W.L	+2.90
T.P	+1.60
M.L.W.L	+0.70
L.W.L	±0.00

凡例

- 平成13年度まで済み
- 当該事業基本計画
- 他の事業 (13までに施工済)
- 他の事業 (14以降施工計画)

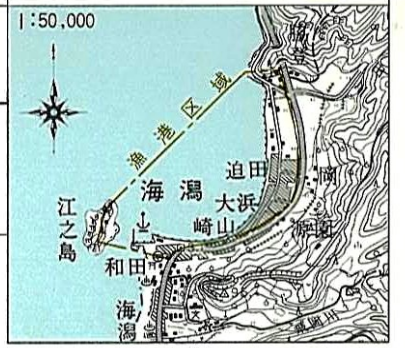
変更後



漁港漁場整備長期計画
海潟漁港広域(特定)事業計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
4920180	第2種	本土	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県垂水市海潟地内

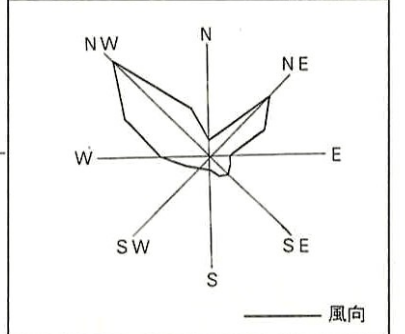
漁港区域図



位置図



風向・風速図



気象官署 鹿児島気象台

潮位図

H.H.W.L	+3.90
H.W.L	+2.90
T.P	+1.60
M.L.W.L	+0.70
L.W.L	±0.00

凡例

- 平成13年度まで済み
- 当該事業基本計画
- 他の事業 (13までに施工済)
- 他の事業 (14以降施工計画)

変更前

